

7月8日(月) 田沼会場



午後6時30分
田沼中央公民館
(視聴覚室)
参加人数：31名

○議会報告のテーマ

- ・移住・定住の促進について
- ・田沼地区の公共交通について
- ・田沼地区の農林業・観光資源の活用について

○意見交換

(議会報告の内容とフリートーク)

田沼地区の公共交通について

- 行政が社会福祉協議会などとタイアップして総合的な交通手段を考えるべきではないか。
- 送迎ボランティアについての考えは。
- 基幹線と飛駒線との接続が良くないので見直しをしてほしい。
- デマンド交通の詳細について伺いたい。
- 地域特性を捉えて運行する場所や車両のサイズも検討し、地元住民の協力を得ながら進めてほしい。
- 飛駒でも試験的に運行をしてほしい。
- 路線バスが乗車ゼロで走行しているので、一定期間年齢制限を設け無料で運行してみてもどうか。
- 職員のプロジェクトチームを作り、栃木市の「蔵タク」を研究してデマンド運行に活かしてほしい。

田沼地区の農林業・観光資源の活用について

- 林業振興について、制度上の課題を議会でもっと認識して、補助金の見直しや独自の支援制度を創設してほしい。
- 伐木後の植林や苗木・下草の処理の経費が非常にかかるので、国からの補助金等をつけてほしい。

空き家について

- 空き家周囲の樹木繁茂による農地への悪影響も含めて空き家対策を講じていくべき。
- 空き家について問題があるケースをリストアップし、定住促進と絡めた住宅政策を進めてはどうか。

移住・定住について

- 佐野市若者移住奨励金の対象期間と年代を限定せずに枠を広げてはどうか。
- 道路網も整備され地域条件は良好だが、若い人の働く場が少ないことから移住は難しいのでは。
- 年間の転入と転出の差、その事情について把握しているのか。
- 農業振興地域内の農用地を外せる良い方策はないのか。外せる独自の仕組みを作ってはどうか。
- 少ない面積でも、農地の所有なり貸借ができて、耕作ができるように規制を緩和してほしい。
- 若年層の流出を抑制するため、工業団地の企業の雇用情報等をもっと積極的に公開できるシステムをつくるべき。
- 工業団地に市外から働きに来ている人を市内に住ませる対策はどうしているか。
- 市街化調整区域の規制を緩和して、若者が住宅を建て定住者が増えるような策を講じてほしい。

その他

- 佐野市の宝は水です。その水源である山を整備しないと、きれいな水が維持できない。そこで長期的かつ具体的な計画を立てて、森林環境贈与税等を有効に使ってほしい。
- 野生鳥獣による農作物被害がひどい、何か良い方策を教えてください。
- 定期的な買い物支援を実施してほしい。
- 都市計画マスタープランにおいて中山間地域についてどのような対策をとっていくのか。
- 移動販売に使用される軽トラ等の改造にかかる費用の補助をしてはどうか。